

船舶インシデント調査報告書

平成30年7月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	座洲
発生日時	平成30年2月28日 01時50分ごろ
発生場所	香川県高松市女木島東方沖 男木漁港1号防波堤灯台から真方位131° 1.1海里付近 (概位 北緯34° 24.3′ 東経134° 04.4′)
インシデントの概要	貨物船SUN JINは、南東進中、浅所に座洲した。
インシデント調査の経過	平成30年3月1日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 SUN JIN（大韓民国籍）、4,380トン
船舶番号、船舶所有者等	9182394（IMO番号）、SUN ACE SHIPPING CO., LTD.
乗組員等に関する情報	船長（大韓民国籍）、一級航海士免状（大韓民国発給）
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風速 約1.3m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期、潮高 約0.3m（高松）
インシデントの経過	<p>本船は、船長ほか15人（大韓民国籍5人、インドネシア共和国籍5人、ミャンマー連邦共和国籍5人）が乗り組み、備讃瀬戸南航路を東北東進中、海上保安庁から付近海域で発生した衝突事故の調査協力依頼を受け、針路を変更して女木島東方沖を南東進していたところ、浅所に座洲した。</p> <p>本船は、浸水等の異常がないことを確認し、高潮時を待って主機を後進とし、自力で離洲して高松市高松港へ向かった。</p> <p>本船の喫水は、船首約3.0m、船尾約4.5mであった。</p> <p>本インシデント発生場所の水深は、約4mであった。</p> <p>船長は、針路を変更する際、事前に海図で女木島東方沖の水深を確認しておけば良かったと本インシデント後に思った。</p>
分析	本船は、南東進中、船長が、海図で女木島東方沖の水深を確認していなかったことから、同島東方沖の浅所に向かっていることに気付かずに航行し、同浅所に座洲したものと考えられる。
原因	本インシデントは、夜間、本船が、南東進中、船長が、海図で女木島東方沖の水深を確認していなかったため、同島東方沖の浅所に向かっていることに気付かずに航行し、同浅所に座洲したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海図で目的の海域に至る予定経路の水深を確認しておくこと。

